

放課後等デイサービス全体評価(職員評価)表

実施期間平成 30 年 5 月実施 ピンポン対象職員 5 名

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いいない | いいえ | 改善目標・工夫している点等 |
|------------|---|---|-----|---------------|-----|--|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 5 | | | |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | 5 | | | 行事等で職員が足りないと思うところもあるため適正な数の職員を配置するよう努める。 |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 4 | 1 | | |
| 環境・体制整備 集計 | | | 93% | 7% | 0% | |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 3 | 1 | 1 | 職員間の会議回数が増やし(月 2 回)非常勤の方も参加している。 |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 4 | 1 | | ・昨年に数回実施。継続していく。 |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 4 | 1 | | 1 回/年実施。6 月更新。継続していく。 |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | | 5 | 義務化されていないので未実施。必要に応じて検討していく。 |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 5 | | | 外部講師を招いて内部研修を実施 6 回/年 継続していく。 |
| 業務改善 集計 | | | 64% | 12% | 24% | |
| 適切な支援の提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 4 | 1 | | 計画を作成した経験が無い職員もいる。内部研修を通じて理解を深める。 |

| | | | | | | |
|-------------|---|--|---------------------------------|-----|----|--|
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 1 | 1 | 3 | |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 2 | 2 | 1 | |
| 適切な支援の提供 | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか | 3 | 2 | | H29年11月～日課変更したがその後見直しが無い為、半年に1回、職員会議にてプログラムの見直しを行う。 |
| | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 3 | 2 | | 平日・休日を分けた課題を計画に反映しているが、長期休暇の課題設定が無い為長期休暇に関する課題にも取り組む必要がある。 |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 3 | 2 | | |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 4 | 1 | | 昨年度より、児童受入前に実施。継続していく。 |
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 3 | 2 | | 支援終了後に職員間で本日の記録やヒヤリハットについて話し合いを行っている。今後も継続する。 |
| | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証、改善につなげているか | 4 | 1 | | |
| | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 5 | | | |
| | | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか | 3 | 2 | |
| 適切な支援の提供 集計 | | | 63% | 29% | 8% | |

| | | | | | | |
|--------------|---|--|---|---|---|---|
| 関係機関や保護者との連携 | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 1 | 4 | | 担当者と児発管の2名で参加していけるように努める。 |
| | ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 4 | 1 | | |
| 関係機関や保護者との連携 | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | 2 | 3 | 受入なし |
| | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | | 3 | 2 | |
| | ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 3 | 2 | | 昨年度の卒業生の時には終了時評価の活用と移行会議に参加。継続していく。 |
| | ㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | | 1 | 4 | 関係が希薄である為、児童発達支援センター等が主催する研修があれば積極的に参加していく。 |
| | ㉖ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | 1 | 4 | 月1回のミュージックケアに参加している。 |
| | ㉗ | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | | 1 | 4 | 参加していない。今後必要であれば参加を検討。 |
| | ㉘ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 5 | | | 直接会えない保護者様には引継ぎノートを活用し、支援の様子・本児の状態等を伝達している。 |
| | ㉙ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | | 2 | 3 | 職員知識不足。外部研修等を通じて知識向上に励む。 |

| 関係機関や保護者との連携 集計 | | 26% | 24% | 40% | | |
|-----------------|----|---|-----|-----|---|--|
| 保護者への説明責任等 | ③⑩ | 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 2 | 2 | 1 | 保護者に広く周知できていない所もある。→変更等あった場合は速やかに保護者に周知する。 |
| | ③⑪ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 1 | 4 | | 年1~2回の面談で支援改善を行っている。 |
| 保護者への説明責任等 | ③⑫ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | 2 | 3 | 保護者会の開催はしておらず、アンケート等を活用して必要であれば開催を検討する。 |
| | ③⑬ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 1 | 4 | | 苦情対応マニュアルを参考に迅速に対応できるように努める。 |
| | ③⑭ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 4 | 1 | | 年6回ピンポン手紙を作成・配布。継続していく。 |
| | ③⑮ | 個人情報に十分注意しているか | 5 | | | |
| | ③⑯ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 3 | 2 | | |
| | ③⑰ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に拓かれた事業運営を図っているか | 2 | 2 | 1 | ボランティア受け入れを積極的に行う。 民生委員の見学も予定している。 |
| 保護者への説明責任等 集計 | | 45% | 43% | 12% | | |
| 非常時等の対応 | ③⑱ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 2 | 3 | | マニュアルが整備されていない箇所もある為、見直していく。 |
| | ③⑲ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 2 | 3 | | H30年度は定期的に訓練を実施予定。 |

| | | | | | | |
|-----------|----|---|-----|-----|-----|--|
| | ④⑩ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 2 | 2 | 1 | 研修はあるが共有までは至っていない。研修参加後、職員の勉強会を行っていく。 |
| | ④⑪ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 1 | 4 | | 同意は貰っているが、個別支援計画に記載されていない児童もいる。順次記載予定。 |
| 非常時等の対応 | ④⑫ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 1 | 2 | 2 | 曖昧な点がある為早急に周知する。 |
| | ④⑬ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 5 | | | 全体共有している。 |
| 非常時の対応 集計 | | | 44% | 46% | 10% | |

全体評価（保護者様向け）表

実施期間 平成 30 年 12 月 回収 14 名/配布者 15 名

| | 項目 | はい | いいえ | ご意見 |
|---|--|-----|-----|-------------------------------|
| ① | 子どもの活動スペース部屋数等は確保されているか | 1 4 | 0 | |
| ② | 職員の配置・専門性は適切であるか | 1 1 | 0 | 不明 3 定員とか資格とか実態が不明 |
| ③ | 事業所の設備についてバリアフリー化等の配慮がなされているか | 1 4 | 0 | |
| ④ | 利用者・保護者のニーズに合った個別支援計画が作成されているか | 1 4 | 0 | |
| ⑤ | 活動プログラムの工夫がされているか | 1 3 | △ 1 | お便りから伝わってくる |
| ⑥ | 支援内容・利用者負担等について丁寧な説明がされているか | 1 3 | 1 | 支援内容が少ない気がする |
| ⑦ | 事業所での様子・過ごし方を職員が適切に保護者に伝えているか | 1 4 | 0 | |
| ⑧ | 保護者に対して定期的な面談が行われているか | 1 4 | 0 | |
| ⑨ | 保護者からの相談があった場合、職員の対応は適切であるか | 1 4 | 0 | タイムリーだと思う |
| ⑩ | 子ども・保護者からの苦情があった際、職員の対応は迅速かつ適切か | 1 4 | 0 | |
| ⑪ | 定期的に会報やホームページ等で行事予定・活動状況を発信しているか | 1 4 | 0 | 取り組みがわかりやすいです |
| ⑫ | 職員が子ども・保護者の個人情報の取り扱いに注意しているか | 1 2 | 0 | 不明 2 |
| ⑬ | 緊急時対応・感染症対応等の非常時の対応について保護者に周知・説明されているか | 1 2 | | 不明 2 |
| ⑭ | 子どもは通所を楽しみにしているか | 1 4 | 0 | 車から降りない時がある 本人の意見や思いがわからない |
| ⑮ | 事業所の支援に満足しているか | 1 4 | 0 | |

| | 項目 | はい | いいえ | ご意見 |
|---|----------------------|----|-----|-----------------------|
| ⑩ | 保護者会等があれば参加したいと思う | 8 | △3 | 日程による3 子どもを見てくれるなら |
| ⑪ | 里の和のホームページはご覧になられますか | 7 | 7 | 機会があれば 見方を知らない。 |

その他ピンポンへのご意見・ご要望等ございましたらご自由にお書き下さい。

| |
|--|
| <p>例 里の和まつりに参加できず残念だった 様々なイベントがあり楽しく参加できている 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日程の関係で里の和祭りに参加出来ず残念 ・ ミュージックケアを楽しみにしている。 ・ 様々な行事があり楽しく参加出来ている。 ・ 祭りに参加出来ず残念でした。時期は暑すぎない9月に行くのは有難い。 ・ 学校の代休・長期休み・お迎え等大変有難いです。 ・ 子どもは毎回楽しみにして通所しています。今後も宜しくお願いします。 ・ 音楽・ダンスが好きなのでミュージックケアは継続してほしいです。 ・ 長期休み等、色んな所に連れていってもらい助かってます。 ・ ピンポンのイベントは本人がとっても楽しみにしています。帰ってくると嬉しそうに話してくれます。 ・ |
|--|

保護者様評価に関しての改善点

- ①職員の配置状況・資格に関しては HP にて平成 31 年 3 月に掲載致しました。
- ②保護者会に関しては、以前まで開催していなかった為、今後開催を検討しており平成 31 年度には実施予定。
- ③法人の HP の認知度が低い為、定期的に発行しているお便りに HP 情報と QR コード等を掲載し、HP の普及活動に努めます。